

2月1日発行





the same

to baruntanu









THE STATE OF









3月定例会 2月 24 日 ~3月 22 日

GR BREWYKANTO

柴田新市長の所信表明

- おしらせ QRコードを導入しました
- 14 名の議員が市政をただす
- 11月臨時会・12月定例会で決まったこと

藤原総務文教委員長からごあいさつ

### 所信表明に議員が質問

### 所信表明の総括

- ・自らが先頭に立ち、知恵を絞り、工夫を凝らしながら 「まちづくり」を進める。
- ・行財政改革を進め、企業誘致、ふるさと納税による歳入 確保・収入増を図る。
- ・限られた予算と人員の中で、市民と対話を重ね、優先順位をつけ、一つ一つ着実に実現していきたい。
- ・すべての世代が希望を持って、住み続けたいと思える 玉野市を創り、将来にわたって、美しい瀬戸内海に抱 かれた穏やかで持続可能なまちであり続けるよう全力 を尽くす。



所信表明を行う柴田市長

### ~所信表明の4つの大きな柱の概要は次のとおりです~

### 1. 若い世代が魅力を感じる、子育てしやすく住みよいまち

- ○出産・子育て世帯が住み、子どもを産み、育てていく環境整備
  - ⇒安心して出産・子育てができるよう、玉野医療センターの機能強化
  - ⇒子育て支援対策、結婚支援策、少子化対策
  - ⇒玉野市独自の支援施策を検討

### 2. 地域の活力を高める、産業振興と観光の魅力向上

- ○都市部から地方へと人の流れが変わりつつある中、 需要の高まりが予想される I T系企業のサテライトオフィス等の誘致
- ○多様な産業の誘致による地域経済の持続可能性を高める
- ○移住・定住につながるよう本市の住みよさをアピール



### 3. 心豊かに暮らせる、文化を感じるまち

- ○文化・芸術の気運を高め、精神的な豊かさを醸成
  - ⇒街角コンサート等の定期的な開催による、市民も観光客も文化を感じられるまちづくり
- ○文化・芸術の拠点となる新しい市民会館の建設について、財源確保や整備手法など様々な可能性を研究

### 4. 市民と共に歩む市政

- ○自ら地域に出向き、市民の生の声を聞いていく
- ○「いつまでも、元気で安心して住み続けられるまち」の将来像の共有
  - ⇒「地域の防災対策」「空き家の利活用」「買い物困難者」など各地域が抱える 様々な課題の解決
- ○市民センター機能の見直し



### 12月定例会

### 柴田新市長の

### 所信表明を踏まえ、6人の会派代表が質問を行いました

※代表質問の詳細は  $4 \sim 9$  ページ、個人質問の詳細は  $10 \sim 17$  ページをご覧ください。



1 瀬戸の会代表 三宅議員



2 同志の会代表 渚議員



3 日本共産党代表 松田議員



4 公明党代表 山本議員



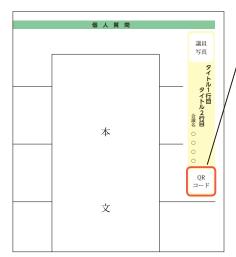
5 玉野未来の会代表 氏家議員



6 令和たまの代表 宇野議員

### ~おしらせ~

### 今号から、一般質問のページにQRコードを導入しました!



### 各議員の見出し部分にQRコードを掲載

⇒スマートフォンなどで読み取ると、インターネット録画放映ページへ 簡単にアクセスすることができます。 ぜひ、ご利用ください。

### 玉野市議会では、本会議の様子を配信しています

- ○倉敷ケーブルテレビでの生中継配信
- YouTube での生中継配信
- ○インターネット録画放映 ⇒ページへのリンクサイト(URL)

https://www.city.tamano.lg.jp/site/gikai/2367.html

### 代 質 問 表



### 市長自ら掲げた公約の 完全実現に向け奮闘を望む の

瀬戸の会代表 宅 宅

三

市長所信表明について

進めるとあるが、 民に訴え、また所信表明に いたい。 ように刷新していくのか伺 おいても市政刷新を着実に 始動。」を旗印として、 ①市長は「玉野、 何をどの 市再

しては、 については、 また、令和2年度の出生者 ②本市は、 また、その他の子育て施策 縁むすびネットと連携して 婚サポートセンター事業、 る。例えば、結婚支援策と 打ち出す必要があると考え でいくため、早期に施策を 想定以上に人口減少が進ん 数は259人であり、この 他市に比べて顕著である。 化の中で、人口の減少幅は 自然動態ともに人口が減少 玉野版結婚サポートセンタ ような状況が続いていけば し続けており、少子・高齢 人をピークに、 -を開設するべきと考える 岡山県が進める結 昭和51年の8万 子育て応援都 社会動態、

案書を作成し国、県に対し

て要望をしているが、その

市を宣言し、子育てしやす

ることを求めるが、

市長の

望し実現できるように進め

り込まれていない。本件に

案書の中に取り入れるべき ついては、当然重点施策提

県に対して要

がる道路整備や高松への直 中に産業や観光振興につな

行航路開設の働きかけが盛

④現在本市では重点施策提 高めていくのか。 催するとあるが、どのよう 施策にしていくのか。 り入れるべきと考えるが、 策や定住促進を推進するた な手法でどのように機運を コンサート等を定期的に開 こととともに、例えば街角 的な豊かさを醸成していく 術の機運を高めながら精神 が高い中、まずは文化、芸 については、市民から要望 ③文化、芸術に対する施策 具体的にはどのような形の い環境を整え、 している相生市を参考に取 など様々な先進的な取組を 中学校給食無料化事業 人口減少対

ては、 サポートセンターと連携し 児童クラブ事業など様々な 育てファミリー・サポー 開するための第2期たまの りに取り組んでいきたい。 望を持てるように意識を変 思われる。まずは、市役所 様々な事業の規模縮小等を 婚サポートセンターにつ 事業に取り組んでいる。結 ト・センター事業、 創生総合戦略に基づき、子 代に焦点を当てた施策を展 ため、特に若者や子育て世 適正な人口規模を維持する ②本市では、将来にわたり めて、持続可能なまちづく 気で前向きな市政運営を進 ンを高めることにより、元 え、仕事へのモチベーショ 一人が仕事に対する夢や希 の屋台骨を支える職員一人 せざるを得ない状況からと 執務スペースなど職場環境 これは老朽化した市庁舎や 厳しい財政状況の中で 現在でも岡山県結 放課後

現在の状況は、

合唱祭など 芸術に係る

③本市の文化、

目指し取り組んでいく。 える魅力あるまちづくりを しながら、若い世代や子育 などの先進地事例も参考と 検討を進めている。相生市 ど、来年度の実現に向けて 検討したい。また、早期に て世代が住み続けたいと思 する結婚新生活支援事業な スタートする際に必要な家 を軽減するため、新生活を えば結婚に伴う経済的負担 実現できる施策として、 等を見ながら今後について て実施しており、利用状況 て本市でも特設会場を設け 引っ越し費用等を補助 例

活力に欠ける印象を感じ、

①市役所全体に活気

考えを伺いたい。

民への周知が十分でな ごとの行事をまとめた 文化行事を実施してい などのほか、文化協会 カレンダーの作成、配 いため、今後は、季節 て実施しているため市 行事はそれぞれ独立し る。しかし、これらの や展示会など、様々な 主催による各種演奏会 アーティスト招聘事業 文化振興事業、トップ 美術秀作展などの芸術

> いく。 係団体と連携協議を進めて ンサート実行委員会等の関 るよう、文化協会や市民コ 文化芸術の機運を高められ をするとともに、より一

ため、 2年が経過しており、 とのほか、道路整備につい の働きかけをしていきたい 航路再開には至っていない 働きかけを行っているが、 県に対して継続的に支援の 航路については、休止から ても盛り込んでいる。宇高 策の検討を早急に進めるこ に対する直接的な財政支援 案書には、宇高航路の運航 ④令和4年度の重点施策提 今後も粘り強く支援 国や

の市民コンサート事業、 布など広く市民に周 7/I 你為国



ついて伺う。 であるが、

実現の見通しに

### 代 質 問 表



### まちの将来を見据え 計画的な市政運営を

同志の会代表 渚

洋

科医師、

めていきたい。 防災意識の高揚、 を取り入れながら、

啓発に努 市民の を参考に様々なアプローチ きていないが、先進事例等 ついては、具体的に検討で 時点で防災グッズの配布に ってきたところである。

市長

市政運営について

いまち」 まち」、「地域の活力を高め じる子育てしやすい住みよ げ、「若い世代が魅力を感 児科の充実を図るとのこと 強化として、産婦人科と小 う玉野医療センターの機能 て出産、 る中で、 じる子育てしやすく住みよ で、「若い世代が魅力を感 てきたと述べている。そこ る市政への転換を強く訴え 寄り添い、市民と共に進め 政改革」を目指し、市民に 信頼できる情報公開と行財 化を感じるまち」、「市民が る産業振興と観光の魅力向 で安心して住み続けられる いまち」、「いつまでも元気 える玉野市をつくるため、 を持って住み続けたいと思 表明で、 上」、「心豊かに暮らせる文 「玉野、再始動。」の旗を掲 ①柴田新市長は所信 子育てができるよ への取組を推進す 全ての世代が希望 公約では、安心し

> 進すべきと考えるが、 施設の集約を図るべきであ 課題を先送りすべきではな 中学校、2高校を運営して を伺いたい。 特化した学校づくり等を推 務教育学校、学校の統廃合 リーダーシップを取り、義 る。そのためには教育長が 育環境とされる適正規模に 子どもたちにとってよい教 ②教育の課題について、 い。まちの将来を見据え、 いる現状に鑑みて統廃合の 16幼保施設、14小学校、 万人弱の地方都市が市立の 市は人口減少が続く中、 所見 7 6 本

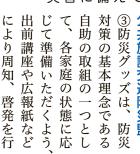
が見込めない状況にあるが ④コロナ禍でインバウンド 考えるが、所見を伺いたい。 30年以内に70~80%の確率 市の具体的な対応について 国際芸術祭2022への本 4月から開催される瀬戸内 避難時に持ち出す防災グッ 中、各家庭に大災害発生の ③南海トラフ地震が、 ズ等を配布してはどうかと で発生すると言われている 20 S

て取り組む。

児・周産期医療の充実を目ことは承知しているが、小 岡山大学をはじめとした関 り巻く環境は大変厳しい状 係機関に粘り強く働きかけ の声を実現するためにも、 指してほしいという、市民 大変厳しいハードルがある した医療従事者の確保には、 り、小児・周産期医療を取 解消対策は大きな課題であ ①全国的にも産婦 小児科医師の偏在 医師をはじめと

況にある。

の防災 ズ ッ 公共施設交通防災監 取っていきたい。



取組について協議を進めて

望が持てるよう実現に向け ターとも連携し、未来に希 るとともに、玉野医療セン

の維持・向上を目的に、 構成したプロジェクトチー そこで今年度、関係部局で 模化が加速する状況にあっ 教育長 ②本市の児童 討を進めているところであ 校の適正規模化も含めて検 ムを設置し、学校教育の質 る必要があると考えている。 を策定し、学校再編を進め 方を検討する中で将来計画 将来を見据えた学校の在り 徒数は減少し、学校の小規 教育委員会としては、 まずは、このプロジェ うあるべきか、かじを 市の子どもたちの将来 のために学校教育がど た取組を進めるととも 来の学校づくりに向け クトチームを中心に未 教育長として、 学 本

ラムを継続実施し、中高生 チューデントガイドプログ 復を見据え、前回からのス 県等関係機関と協議を重 滞留時間の延伸につながる イトタイムを活用した市内 設ができるのを契機に、ナ 宇野港周辺に新たな宿泊施 行う予定である。さらに、 かしたメニューの開発等を クトとして地域の食材を生 ルを養うほか、食プロジェ の外国語によるガイドスキ 将来的な訪日観光客数の回 の本市独自の取組としては である。また、同芸術祭で 対策を検討しているところ しているほか、本市も岡山 会場での感染症対策を策定 る。現在、実行委員会が各 見通しが立たない状況であ イルス感染症の影響により 来場者数は、 祭2022への海外からの 副市長 ④瀬戸内国際芸術 新型コロナウ ね



備 え て

### 代 質 問 表



### 市民に寄り添う 市政の実現を望む

日本共産党代表

松

田

達

備え、感染症対策の強化を 新型コロナ 「第6波」 اتا

①市長は就任して1

②コロナ禍で苦境にある中 協議すべきと考える。 ち着いている今こそ、 見を伺いたい。 独自の支援対策について所 援が求められているが、 が困窮する世帯に対して支 小事業者や収入減少で生活 を伺いたい。 本部において感染症対策を ウイルス感染症の感染が落 ヶ月になるが、新型コロナ 対策 所見 市

市長 要に応じて対策本部におい 多いことから、 が、対策本部と同じメンバ て状況の把握、方針の決定 しなければならない場面も ある。ワクチン接種におい を随時行っているところで ーでワクチンに関する協議 本部はまだ開催していない 判断を尊重しながら、必 ①市長就任後、 即時対応方針を決定 国の方針が随時変更 今後も現場 対策

> 生活困窮世帯への支援とし ジ企業応援事業や飲食店等 副市長 時交付金を活用した支援策 認識しており、 き続き必要な状況にあると 生活と事業者への支援が引 新たに実施している。市民 症生活困窮者自立支援金を 確保給付金のほか、今年度 プレミアム商品券の販売や、 また消費活性化対策として 業のほか、新たにチャレン を講じるよう準備していき は新型コロナウイルス感染 て対象要件を緩和した住居 緩和したリスタート応援事 る事業者支援として条件を 時支援事業を実施した。 ②コロナ禍におけ 国からの臨

かで元気な玉野市を を復活し、安心できる豊 市民センターの窓口業務

直しは地域活性化につなが 地域の教育、 るものと考える。市民セン ある市民センターの機能見 ①超高齢社会の中で 文化の拠点で

未来を共創する全国市 副市長 ③海事産業の く働きかけていきたい。

を行っていきたい。

多くの市民が市長に期待し 交付を再開すべきであり、 ターにおける各種証明書 ていると思われるが、 雄 里 多 所見 0 うな取組をしているのか。 や県、企業に向けてどのよ の悪化が懸念されるが、 市民センターでの証明

①この選挙戦を通じ

たい。 なものと考えるが、市長の 野医療センターの産婦人科 ②市長の公約において、 を伺いたい。 今後の取り組み姿勢を伺 くりという意味からも必要 る。子育てしやすいまちづ と小児科の充実を掲げてい

③三井E&Sグループ玉野



事業所における商船建造か

らの撤退等による雇用情勢

玉

行について改めて検討して 進めてきたという経緯も踏 り組みとして議会と協議を これまでの行財政改革の取 機能の見直しが必要ではな ためには、市民センターの いきたい。 まえたうえで、証明書の発 いかと考えている。ただ、 いまちづくりを進めていく いている。市民が住みやす 書の発行を希望する声を聞

市民セン 口の様子 夕 窓 を掲げている。非常に 係機関に対して粘り強 長と連携したうえで、 玉野医療センター理事 高いハードルであるが、 欠であることから、 岡山大学をはじめ、 婦人科、小児科の充実 環境の整備が必要不可 くりのためには、 けたいと思えるまちづ で希望を持って住み続 ②若い世代がこのまち 医療 関 産

> も連携し、各支援機関から 振興財団などの関係機関と 見ている。また、県や産業 等の支援につながる成果を 業をはじめとする海事産業 るところである。 の個別の支援につなげてい 整助成金の特例措置の延長 た結果、税制改正や雇用調 に対する支援を国へ要望し 区町村の会において、

### 生かす市政に 憲法を守り、暮らしに

たい。 においてどのように受け止 国会で答弁している。 とは重要であり、低所得者 めているのか、 応を市町村に徹底したいと に配慮したきめ細やかな対 制度が適切に活用されるこ について、滞納処分の停止 活困窮者の国民健康保険料 厚生労働大臣 所見を伺 は、 本市

対応については、 めている。 財産を詳細に調査したうえ 分の執行停止については、 応を心がけている。 況に応じたきめ細やかな対 の状況を聞き取り、 市民生活部長 適切に活用するよう努 滞納処分の 個人個人 滞納処 生活状



で対象を拡大している市が

①現在は18歳未満ま

### 代 質 問 表

# 子育て、福祉の充実など 一人取り残さない」社会の実現を

公明党代表 Щ 育 子

子育て・教育について

一魅力について保護者から ①本市の子育て支援

②市長の公約に「満1歳ま その具体案を伺いたい。 当を支給します」とあるが で在宅で育児する世帯に手 を展開してはどうか。 食費補助制度、紙おむつ購 医療費助成制度に加え、給 るのであれば、18歳までの 今後、子育て支援に特化す 体に大きな利益を生み出す。 実につながることで社会全 まらず、社会保障制度の充 れば、直接支援を受ける子 の充実により出生率が上が くなっている。子育て支援 としている自治体の方が多 今や県内でも18歳まで無料 として評価されていたが、 までは本市の先進的な取組 である。この施策は少し前 学生までの医療費無料制度 入費の助成など大胆な施策 育て世代や子ども達にとど 一番に挙げられるのは、

> ②子どもが満1歳になるま 7 市、 ある。手当の具体的な金額 の推進に向け、有効な施策 育てしやすい住みよいまち の手当支給については、若 で在宅で育児をする世帯へ 慎重に検討したい。 の施策とのバランスも含め、 な財政負担を伴うため、他 ると認識しているが、大き また給食費や紙おむつ、そ 厚い助成の市が増えている。 となっており、本市より手 財源確保や施策の有効性の や支給要件等については、 ではないかと考えたもので い世代が魅力を感じる、 て世帯の負担軽減につなが の他の助成についても子育 分析等を踏まえ現在検討し 小学6年生までが2市 中学3年生までが6 子

### 健康・福祉について

の就業者数が多いサービス の影響が深刻であり、 感染症の拡大は特に女性へ 新型コロナウイルス 女性

多く、

新型コロナウイ

ていきたい。

してでき得る役割を果たし 施策の中に取り込み、

面が厳しい状況にあり、加が多く、処遇面や働く環境 影響をもたらした。本市の 休園は生活面、就労面にお えて緊急事態宣言下の休校 事者などのいわゆるエッセ る。医療、 率は8割以上にも上って 数も前年同月と比べて増加 いて特に女性に大きな負の ンシャルワーカーには女性 力の増加も深刻で、自殺者 て大きく、 産業等が受けた打撃は極 介護、保育の従 DV(※)や性暴 4

防止対策は十分整って での対応、体制や自殺 現状として、相談窓口 いるのか。

がいについての相談が まいや病気、健康、 が増えた状況ではない に女性からの相談件数は、コロナ禍により特 策課内にある生活支援 健康福祉部長 ず、収入や生活費、住 てきており、男女問わ が、相談人数は増加し 相談窓口での相談状況 福祉 障

り寄り添い、最適な支援を にくい内容でも相談しやす とし、異性に対して相談し 居確保給付金等を案内した 向けて経済的な支援が必要 も相談者の困り事にしっか い体制を整えている。 に女性2名を加え3名体制 令和3年4月から男性1名 相談体制も、相談支援員を に応じた対応を行っている。 労支援を行うなど、困り事 上で、債務返済の相談や就 な場合は各種貸付制度や住 た相談には、例えば解決に れると考えている。こうし ルス感染拡大の影響が見ら 今後

進めていきたい。



福祉政策課の生活支援相談窓口

について ポストコロナの市政運営

議員 所見を伺う。 向けてのものであり、 新しい取組をしてはどうか て総合計画に盛り込むなど SDGS推進宣言都市とし 取組を強化するとあるが、 な社会を目指すSDGsの 市長の公約にも、持続可能 にも共通する理念である。 サービスを実施する自治体 の支援を必要とする方々に がい者など、あらゆる世代 者、若者、子育て家庭、 いう理念は、子ども、 一人取り残さない」と S D G s が掲 市民

SDGsの17の目標を本市 り残さないという理念は、 の施策に関連づけるなど、 いる次期総合計画において め、来年度策定を予定して っきりと明示していないた 共通する取組はあるが、は 画では、 SDGsの 理念と 識している。現在の総合計 てはまる考え方であると認 かい合う地方自治体にも当 全ての世代、様々な方と向 市長 SDGSの誰一人取

### 代 表 質 問



### **見据えた市政運営を** 玉野市の未来を

玉野未来の会代表 氏 家

勉

### 選挙公約について

再始動。」というスロスの発力を

り、公共交通は高齢者の方 ⑤本市は高齢化が進んでお 今後その機能をどのように ④現行の市民センター機能 とその実施スケジュールに ジを受けた市民、事業者へ ③コロナ禍で大きなダメー 生かし、元気な玉野市をつ ②県政との深いつながりを 見直していくのか。 議論してきた結果であるが は、これまで時間をかけて ついてお示しを。 であるが、具体的な支援策 の支援を強化するとのこと の深いつながりをどのよう 市とは何か、また、県政と くるため全力を尽くすとの どのようなものなのか。 始動に込められた意味とは に生かしていくのか。 ことであるが、元気な玉野 -ガンを掲げているが、再

代が住み続けたいと思える

一度動かし始め、全ての世

玉野市をつくりたいという

⑥市長は「市民目線の情報にい。

いと考えるが、所見を伺いいと考えるが、所見を伺いすいものでなければならな事様々な年齢層に利用しや

こで、ふるさと玉野をもう 会を開く。」と掲げている はどのようなものなのか。 はどのようなものなのか。 はどのようなものなのか。 が、市民目線の情報公開と が、市民目線の情報公開と が、市全体が停滞して いるように感じていた。そ いるように感じていた。そ

を求めるなど、これまで県制度改正等があれば、これに県と関わるような施策はに県と関わるような施策ははがを進めるために必要ながあれば、これがあり、これを実現するための世代が希望を持って住みの世代が希望を持って住み

公共交通は、子ども、学生

大変重要である。

ただし、

が外出する際の手段として

っていきたい。 係を生かした市政運営を行た人的なつながり、信頼関 職員として37年間勤めてき

③長引くコロナ禍で、どの 多な支援を求められている をも調整を図り、不足して とも調整を図り、不足して とも調整を図り、不足して を付金を活用するなどし、 で付金を活用するなどし、 で付金を活用するなどし、 では、どの

施し、納付については、 配サービスを新たに実 交付や、職員による宅 の代案としてコンビニ 付業務を廃止した。そ の交付と市税などの納 取組として、 4月から行財政改革の ④市民センターの窓口 の納付を可能にするな にコンビニや郵便局で 座振替に加えて、新た 金融機関での納付や口 を活用した住民票等の 機能については、昨年 サービスの拡充を 住民票等

動。」というスローガンを思いを込め、「玉野、再始

掲げたものである。

②元気な玉野市とは、全て

大からは市民センターでの 方からは市民センターでの 証明書交付の要望も伺って できる限り確保しながら、 ごまえつつ、行財政効果を できる限り確保しながら、 できる限り確保しながら、 がまえから、 できる限りではながら、

様々な手段で市の情報を市まの」やホームページなど

の運用をはじめ、「広報た

⑥本市では、いきたい。

情報開示制

共交通として改善を図って

気公共交通は高齢者だけで⑤公共交通は高齢者だけでの大ート調査などで聞きないて、ヒアリング調査やアいて、ヒアリング調査やアンケート調査などで聞きないがら、今後も利用している。こうした多くの方々のと様々な方々が利用している。こうした多くの方々のがら、今後も利用しやすい公のがよりで

いきたい。

寧に説明する機会を設けて市民により分かりやすく丁で対話集会を開催するなど

様々な計画等について地域

このため、

本市が進める

ではないように感じていた。るタイミングや内容が十分の計画や事業をお知らせす民に公開してきたが、本市





市内公共交通の1つであるシータク

## 市長の本気、やる気に

議員 今回は、市長に就任 ・ 会職団市長の本気、やる気が、改めて市政運営に対する。 ・ 会職団である。 ・ 会職団に対している。

市長 ふるさと玉野に貢献したい、また元気にしたい 市長の負託を受けて 補し、市民の負託を受けて 市長に就任した。市民の期 待に応えるべく、現在直面 している多くの課題に真摯 に向き合い、玉野を元気に

取り組んで行きたい。 える玉野市の実現に向けて

芸術活動の拠点となり、

を活用し提案していきたい。 必要に応じてこうした制度 届けることが可能である。

①市民会館は文

知恵を絞り、私の目標とす の将来のために何が必要か かなか及ばないが、玉野市 ある。稲盛氏の手腕にはな 改めて感じているところで 市長としての責任の重さを

を持って住み続けたいと思 る全ての世代の市民が希望

### 代 質 問 表

たコスト意識のもと業績を ため会長に就任し、徹底し を申請した日航を再建する



# 民間活力を効果的に活用し 公共サービスの質の向上を

俊

市

令和たまの代表 野

なる学び 混迷する玉野市・必要と

の丸体質 しみついた日

よしろう新市長に期待す 名誉会長の手腕を、柴田 航を立て直した稲盛和夫

のか。 究すると述べたが、具体的 源確保や整備手法などにつ にはどのように考えている 認識しており、それでもな 財政的な制約があることは おいて、文化、芸術の拠点 いてさまざまな可能性を研 お前向きに進めるために財 となる新市民会館について、 ①市長は所信表明に

る稲盛和夫氏は会社更生法

京セラの創業者であ

②岡山市、玉野市及び久米 きと考えるが所見を。 院に移管し診療所にするべ から見直しを行い、採算性 ③市民病院についてはゼロ 考えるが所見を伺いたい。 設に充てることが出来ると り、その事業費を市庁舎建 施設の建設費用は無料とな 式に変更すれば、ごみ処理 協定書を破棄し、 南町とのごみ処理に関する 旧市民病院は日本赤十字病 を精査していく必要がある。 三豊市方

示してほしい。

就任からの1ヶ月で

本市の財政再建への決意を

稲盛氏を挙げているが、

市長は尊敬する人としてこ 直しは難しかったと考える。 以外では日航の経営の立て 急速に回復させた。稲盛氏

> や規模等を含め、広く意見 と協議し、施設の建設場所 確保や整備手法などの詳し 難であり、 政的な制約があるためすぐ その活動拡充に必要と考え いきたい。 を聞きながら検討を進めて 各関係部署や関係団体など い具体策については、今後 までは至っていない。財源 ているが、現在のところ財 !建設に着手することは困 具体的な構想に

燃ごみ焼却施設は、供 市民生活部長 ②本市の可

平成29年3月に岡山市 ごみの焼却施設の実現 将来にわたり持続可能 域化を進めることで、 協定を締結したところ に向けた検討を重ね、 とから、広域的な可燃 である。ごみ処理の広 会の議決後に岡山市と る協議について、市議 務委託する規約に関す へ可燃ごみの処理を事 不可欠な状況であるこ し、新たな施設整備が 用開始後40年以上経過

> ことから、2市1町におけ が確保されるものと考える めていきたい。 委託協定に基づき計画を進 るごみ処理に関する事務の で適切な廃棄物処理の体制

> > 営を開始したところである。 野医療センターとしての運 現在の地方独立行政法人玉

的な統合等による連携は難

しいとの結論を得たのちに

前に、玉野市民病院、 行政法人の運営を開始する において、3病院での具体 を行ってきた。この協議会 会においてさまざまな協議 野市地域医療連携推進協議 を含めた議論の場として玉 院玉野分院での連携、 三井病院及び岡山赤十字病 転換については、 の移管及び診療所への機能 十字病院への玉野市民病院 病院事業管理監 地方独立 ③岡山赤 統合 玉野



地方独立行政法人玉野医療センターの様子

20世紀型政府の解体新書 たいと考えている。 ら、地域医療を支えていき 分院とも連携、協力しなが 今後、岡山赤十字病院玉野

# の提言

場合や規制緩和の必要性が おいても地方六団体の声を た、国と地方の協議の場に 案を行うことができる。ま 集方式により制度改正の提 体等から国に対して提案募 ある場合には、地方公共団 での取り組みに支障がある 政策財政部長 必要と考えるが所見を。 治体からの解体新書提出も 20世紀型政府には、 あらゆる分野に及んでいる。 日本政府の柔軟性の欠如は コロナで浮き彫りになった 掃除しなければならない。 の機能を一度オールクリア 20世紀の規制省庁を大 旧態依然とした国 地方自治体 地方自

### 人 質 問 個

本市では総合計画は策定し



て

新総合計画の策定につい

# 総合計画に基づいた 市政運営の徹底を求める

小 泉 馨

同志の会

機能の廃止や競輪場の建て られていない市民センター 中・長期の市政に関わる取 替えなどが進められている。 運営では、総合計画に掲げ した。しかし、最近の市政 に8年間の基本構想を策定 して、本市では令和元年度 組の基本となる総合計画と このような状況を見ると、 方自治体における

と考えるが、所見を。 計画の策定を急がれるべき めに、総花的でない新総合 来を見据えた公約実現のた ると言わざるを得ない。将 に描いた餅になってきてい ただけで何の意味もない絵 現在の計画は、基本

> ちづくりを進めるための施 にしていきたい。 を促し、実のある総合計 構築し、PDCAサイクル 捗状況を客観的に分かりや 総合計画に掲げた施策の進 策もポイントを絞って盛り を回す中で職員の意識改革 すく評価できるシステムも 示していきたい。さらに、 て、私なりのアプローチで 込んだ新たな総合計画とし 魅力的で持続可能なま

### 取り扱いについて 市民センターの

された。現在は館長と市民の活用に代えることで廃止 どおらず、その変わりよう 活動支援員の2名が常駐し 証明書交付等はコンビニでして位置づけられていたが、 もあり訪れる市民はほとん ているが、コロナ禍の影響 サービスを提供する拠点と におけるきめ細やかな行 市民センターは地

市政の基本となる現在の総合計画 ユニティ、 市民センター機能を復れている。従来からの 学校等の空きスペース を願うが所見を。 の活動拠点とした新し に根差した防災、コミ 活させ、さらに各地域 せるという方針が出さ で公民館として存続さ 市の職員は配置せず、 い機能を付加すること 介護福祉等

る。 にショックを受けてい また、将来的には、

> 点と認識している。また、 センターは地区コミュニテ 検討したい。新しい機能の 宅配サービスを開始した。 明書の窓口交付と市税等の たいという要望に応じて検 応じ、今後これらの団体か もなる。地域ごとの実情に することで、 市民センターを活動拠点と 地域の避難所であり防災拠 効果を維持しつつ、改めて 緯も踏まえ、行財政改革の これまでの機能見直しの経 用を可能としたほか、高齢 納付を廃止し、コンビニ活 らセンターを活動拠点とし アセンター等の運営団体が 各地域での地区ボランティ ィの活動拠点であるほか、 付加については、現在市民 る証明書発行については、 者など外出が困難な人には 方、市民からの要望もあ 福祉の拠点と

### について 市役所本庁舎の建替え

討したい。

ては耐震補強を行い、 を立ち上げ、具体的な手法 交えた本庁舎整備検討会議 かわらず、内部で有識者を 化する方針であったにもか 議員 市役所本庁舎につい 延命

もあるため、来年度に策定

202 基本構想

生じていると思われる部分

APACE CARPINSES

本市が目指す将来像を掲げ する総合計画は、長期的に

計画の期間は4年と

昨今の状況の変化とずれが 構想が8年と長期であり、

> 検討しているのか。 れていないが、何を根拠に とは総合計画にも全く示さ 本庁舎を新たに建設するこ 的な方針を策定するとある。 を検討し、 今年度中に基本

副市長 町の庁舎の被災により、災年の熊本地震では、一部市 について、昨年度有識者の ある。こうした中、平成28 が、他の施設整備優先の関 けて取り組んでいるところ 心な新たな庁舎の整備に向 きる機能を備えた安全・安 や復旧活動を行うことがで 防災拠点として迅速な支援 また災害発生時には地域の して利用しやすい施設で、 の方針とした。市民が安心 討を行った結果、建て替え 外部委員を招き、改めて検 等の必要がある本市の庁舎 態が生じたため、耐震補強 害対応の遅れや行政機能 係等から耐震化は未実施 庁舎の耐震化方針を示した 時的な停止など深刻な事 平成26年3月に現 の

### その他の質問項目

- 教育環境の整備について 出産、子育てについて
- 県への要望事項について

民センターでの各種証

昨年4月から

あると考えている。

しかし、

振興のために必要な施設で における拠点となり、その 市民会館は、文化芸術活動 市長 ①音楽ホールを含む

選定を行いたい。

早めの購入を促す告

見などを伺いながら慎重に

### 質 問 個 人



公共施設再編整備

# 市民の安全と財産を守り、 暮らしやすい環境づくりを

瀬戸の会 藤

所、時期、規模、予算、財の建設を述べているが、場 どのように考えているのか 政的な裏づけについては、 市長は、公約で新市民会館 伺いたい。 ことは本当に残念である。 べき市民会館がないという のに、文化の拠点とも言う 番目に人口が多い市である ①本市は、県内で5

②市役所本庁舎は、来るべ っているのか。 るが、建設場所のめどは立 も着手するべきと考えてい に対応するため、すぐにで 起こるかもしれない大災害 震の際に一番大切な防災拠 き天災、特に30年以内に70 言われている南海トラフ地 ~80%の確率で発生すると 司令塔となる場所であ 新庁舎の建設は、 明日

> のはまだない。今後、各関 財政的な裏づけを示せるも に着手することは困難であ 約があるため、すぐに建設 きながら検討を進めていき 議し、広く市民の意見を聞 場所や時期、 っていない。 り、具体的な構想までに至 現在のところ、財政的な制 係部署や関係団体などと協 規模、予算、 したがって、

専門的な見地から幅広い意 よる検討委員会を開催し、 ころである。今後有識者に る最適地を検討していると かつ必要な規模を確保でき で有利な財源が活用でき、 財産の活用を基本とした上 財政負担軽減のため、市有 えている。また、将来的な の役割などを総合的に勘案 害発生時の防災拠点として ついては、市民の利便性や ②本庁舎の建て替え場所に して検討すべきであると考 まちづくりとの整合性、 災

子

### 玉野市競輪場整備

事態を把握しているか。ま 足のため、車券が買えず怒 が詰めかけ、現在設置して 野競輪場にも多くのファン 催され、特に優勝戦では しなかったのか。 では、こうした事態は発生 た、キャッシュレス投票機 たと聞くが、市当局はこの って帰ったファンも多かっ いる現金発売機では台数不 先般小倉競輪祭が開

多数並んだため、一時的に 様の列ができたことは承知 中に現金発売機の前にお客 たため、一部のレース発売 り、多く方に来場いただい さらに祝日ということもあ ドの高いレースの決勝戦で、 ていることに加え、グレー 外発売のスペースが限られ こうした事態への対応とし 集中したものと考えられる。 締切り間際に現金発売機へ している。その原因として、 は施設整備の工事中で、 副市長現在、玉野競輪場 場

> キャッシュレス投票機では、 クカード記入のお手伝 明に努める。 車券の購入漏れがあったと ないようにしていく。なお、 きお客様への親切丁寧な説 は聞いていないが、引き続 を行い、車券の購入漏れが スタッフによるマー い等

### 玉駐車場整

はフェンスが設置されてお 車場を利用した際に、 端から僅か10センチく らず、また、車止めが川の ところ、市営駐車場部分に した。後日現地を確認した する川に転落して腕を骨折 先日知人が玉市営駐 隣接

場は整備の際、 ているのはなぜか。ま 台数を確保しようした できるだけ多くの駐車 道の幅員を確保しつつ、 建设部長 市営玉駐車 な対応を図るのか。 た、こうしたことを受 このような状態になっ れている状況であった。 らいのところに設置さ 市としてどのよう 駐車区画が縦、 前面市



安全対策が求められる市営玉駐車場

ら、フェンスの設置には至 見が多数あったことなどか 防止柵は必要ないという意 利用者意向調査において、 率が90%以上であることや、 部が道路にはみ出てしまう きたい。 備手法について検討してい しては、注意喚起等の方策 け、市営駐車場の管理者と っていない。今回の件を受 区画数が減少するなら転落 に減少するが、現在の利用 を広げると、区画数が大幅 フェンスの設置や駐車区画 また、安全性向上のため、 しない状態で運用している。 ことから、フェンスを設置 安全性向上に有効な整

### 人 質 問 個

# SDGSの理念を積極的に施策に取り入れ 住み続けたいまちづくりを

公明党 森 本 宏

について SDGS の 取り組み

市長 るが、所見を伺いたい。 推進に取り組むべきと考え おいて、具体的なSDGs や民間団体との連携の下、 掲げる開発目標は17の各分 るものである。SDGsの つながるような特定分野に 世界の貧困や格差の解決に 野に分かれているが、企業 さないという理念と合致す s の 目指す、 掲げており、 において生涯活躍のまちと 玉野市は、 SDGSの誰一人取 誰一人取り残 これはSDG

総合計画 うえで、 団体と連携しながら、 ていきたいと考えている。 してでき得る役割を果たし 市民や企業、

市と 各種

### ための取り組みについて 健康寿命の延伸」 の

②グリーフケア(※)はまだ 用を負担した場合、公費で 高校1年生までとなってい りが必要と考えるが。 あり、そうした居場所づく 経験した方は、同じ体験を 現状である。流産や死産を あまり知られていないのが の補填を考えているのか。 ぎたために、自費で接種費 む声を聞く。HPVワクチ きるのは小学校6年生から 的勧奨が再開される方向と ンの定期接種対象年齢を過 なった。公費で無料接種で ン(HPVワクチン)の積極 したいと望んでいるようで した経験者と気持ちを共有 ①子宮頸がんワクチ 無償期間の延長を望

> ら検討をしていきたい。 体の動向などを確認しなが 題もあることから、他自治 や、対象者の範囲などの課 ることが望ましいと考えて ら国による救済措置を講じ いるが、接種歴の確認方法 れた方も、 ている。既に自費で接種さ いては国において議論され しまった世代への対応につ の期間に接種機会を逃して 公平性の観点か

ては、 ている。今後も必要な支援 ページでも情報提供を行っ 必要に応じてこの会を紹介 あるが、本市においては、 加につながっている状況で 機関からの紹介により、 中に関わってきた産科医療 しているほか、市のホーム 会」がある。主に妊娠期間 している「ママとたまごの 育とこころの相談室が開催 センター内にある不妊・不 苦しみを分かち合う場とし た方やその家族が悲しみや 産で大切な子どもを亡くし 岡山県不妊専門相談 参

ことから、

来年度策定を予

定している次期総合計画に

あるが、明示はしていない Sの理念と共通する取組は 現在の総合計画でもSDG かい合う地方自治体にも当

全ての世代、様々な方と向

てはまるものと考えている。

り残さないという理念は、

けるなど施策に取り込んだ 目標を本市の施策に関連づ おいては、SDGsの17の

定期接種の積極的勧奨控え

について研究していきたい。

いては、

①HPVワクチンの

### たちの教育 「未来の宝」 環境整備 の子ども

議員 について

学校では既に新たな制服を 通の標準服採用に対する所 ②制服の自由選択制及び共 校の制服の現状は。 導入しているが、残りの6 ようである。そこで伺う。 選択制を導入する学校が増 ①市内中学校のうち宇野中 スカートなど自由に選べる 意見を踏まえスラックスや 加している。 保護者や子どもたちの 全国的に制服の自由 機能性に配慮

学校と保護者が相談し とについて、中学校長 しい制服を導入するこ 度から3年間かけて新 については、令和5年 宇野中学校以外の6校 決定するものであるが 教育長 ①制服については 会を中心に検討が進め

> 準服を採用することも選択 ては、生徒や保護者からの 肢の一つである。 を進めていくべきと考えて 意見を参考にしながら検討 由選択や標準服採用につい

### その他の質問事項

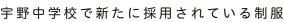
取り組みについて 「市民に寄り添う

「男性の育休取得」に ついて 「雇用対策」について

健康福祉部長②流産、

見を伺いたい。

②制服の自由選択につ 導入についてのアンケ 対して、新しい制服の 学校の児童や保護者に られている。また、小 るところである。 ート調査を実施してい 機能性や性の





多様性などの観点からも検 む中で、市内で統一した標 また、学校の小規模化が進 討が必要だと考えている。 制服の自

※グリーフケア 家族や友人などと死別した人が悲嘆 (グリーフ) から立ち直る過程を支援する取り組み。

### 質 問 個 人



# 具体的な行程表を描 公共施設再編整備等の市政運営を求める体的な行程表を描いた

同志の会 有 元 純

る

### 施策について 防災・減災の取り 組み

本年6月、

道の駅み

①ハード面、ソフト面で最 地方創生、 せの進捗状況は。 なるが、国等との打ち合わ おり、残り4年間の整備と ている。そこで伺う。 拠点としても位置づけられ 防災拠点として、さらには で唯一選定され、広域的な 防災道の駅として岡山県内 やま公園が国土交通省より 大5年間の支援と言われて 観光を加速する

状況は。 泊施設整備についての検討 口増加の施策や快適な車中 の駅の機能として、 ②災害時の車中泊避難と道 交流人

は、 災道の駅に関する進捗状況 公共施設交通防災監 現状と今後の整備方針につ り、災害時に避難場所とも ③防災道の駅の整備に当た いて伺う。 レの整備も必要と考えるが なるため、 8月に第1回目、 マンホールトイ ①防 10 月

> 害への備えとしてこの取組 園のオートキャンプ場整備 検討状況に関し、みやま公 考えている。 進めており、大規模自然災 の駐車場を車中避難場所と ま公園以外では、民間施設 展していない。一方、みや ②快適な車中泊施設整備の 検討を深める予定である。 第3回目の会議で引き続き の駅みやま公園のBCP に第2回目の国、 を広く推進していきたいと して利用するための協議を な社会情勢の影響等から進 に関する民間提案は、様々 を始めており、12月下旬の よる担当者会議を行い、 た基本方針などの協議検討 (業務継続計画)策定に向け 県、 市に 道

くものと考える。 場スペース前にマンホール 的な検証の中で検討してい 今後の整備拡充については、 トイレを14基設置している。 ③道の駅みやま公園には 必要かどうかも含め、専門 在情報コーナー東側の駐輪

### 性ある企業誘致について 公共施設再編整備と多様

所見を伺う。 再編整備との関係について のか。企業誘致と公共施設 場として公共施設再編整備 組むとあるが、企業誘致の の誘致も視野に入れている で使用しなくなった施設 ライトオフィス誘致に取り な企業やIT企業等のサテ 議員 ①市長公約に、



深山公園のマンホ 効な手段だと考える。 間で36%削減すること の総延べ床面積を40年 理計画で、 体制施設への転換も有 には、複合型施設使用 としている。そのため

建物系施設

市長 を目指すならば、施設数の 活用に努めている。新たな 用途廃止した施設等の早期 探っており、民間活用も見 が人口数に見合っていない いて、どう考えるか。また、 合型施設使用体制施設につ で活用の可能性を探るなど、 込めない場合は、解体の上 従来も民間活用の可能性を 用しなくなった公共施設は、 もあると考えるがどうか。 配置の絵を描いていく必要 的な計画線表と市内の施設 度別の再編整備など、具体 ため、コンパクトシティー 人口減少が続く中、施設数 大幅削減も必要である。 ①再編整備により使 年

②平成28年度策定の玉 は有意義だが、老朽化 止した公共施設の活用 野市公共施設等総合管 前向きに検討したい。 まずは相手方の意向を 確認し、条件が合えば した施設等が多いため、 企業誘致の際、用途廃

> ド感を持って取り組みたい。 源について精査し、スピー 画の内容や手法、 重要だと認識しており、計 いった具体的な目標設定は いかに再編整備するのかと また、各年度にどの施設を 必要な財

### 交通の改善について 利便性の高い、地域公共

考え、新路線申請について 起はできないか。 バス運営協議会の中での提 事業者への働きかけや市内 持たない学生等の利便性を 域となっているが、免許を によりバス利用が厳しい地 荘内地区も路線バスの減便 がされていると聞いている。 から特急バスの減便の相談 が予想される。また、業者 になることにより交通渋滞 ル箇所が約3年間通行止め 玉トンネル工事で、トンネ 令和4年1月からの

②縦割りの所管を越えた複

号玉トンネルの工事渋滞緩 者と協議していきたい。 をもって、まずは運行事業 荘内地区の人の利用見込み られると考えられるため、 和策として一定の効果も得 トについては、国道430 通勤時間帯を通る新規ルー 公共施設交通防災監 朝



玉野再始動について

# 様々な声に耳を傾けて、 市民に寄り添った市政運営を

本 史

論については今後どうする 画の基本構想と後期基本計 年に始まった玉野市総合計 のか。また、改革していく 廃合、本庁舎建て替えの議 の観点から伺う。2019 一丁目一番地は何か。 さらに、幼保一体化計 義務教育学校や学校統 前市長の時代から継 新市長に継承と改革

早急に検討を進めていく。 ジェクトチームで検討を進 改革を図ることであると考 員一人一人が明るく前向き つ強力に推進するため、職 は、こうした取組を着実か また、改革の一丁目一番地 基本的な方針を示せるよう あり、本年度中には整備の 意しながら取り組む必要が を聞いていく。本庁舎の建 等を通じて広く市民の意見 の幼保一体化将来計画に沿 に職務に向き合うよう意識 な財政負担の軽減策等に留 て替えについては、将来的 めており、今後地域懇談会 ては、今年度設置したプロ って統廃合を進め、 学校統廃合につい

# 玉野市の独自性について

時代の変化に合わせた取組

れるような取組や、社会や 方で、市民が希望を感じら なければならない。その一

の行財政改革は続けていか

う点は変わらず、そのため

まちづくりに取り組むとい と玉野を愛し、持続可能な 承するものとして、ふるさ

よる職員のボーナス減額に じられない。人事院勧告に 他市と足並みをそろえたり、 玉野市としての独自性が感 とを粛々と進めたり、県内 本市は国が決めたこ

想から取りまとめ、その中

市政刷新のための指針を新 を進めたいと考えており、

たな総合計画として基本構

に私自身の思いを反映して

・きたい。さらに、幼保一

区の方向性が示された現行 体化計画については、

> のか。 ボーナスの減額を見送った ずなのに、本市はなぜ今回 ついても、 手続きは間に合っていたは 開催など給与改定に必要な 市議会臨時会の

拠した改定を実施したいと 多数が国の動きに合わせる 岡山県及び県内市町村の大 員の取扱いに準拠すること されたことに加え、職員組 国の通達により地方公務員 告の内容を踏まえ、12月期 8月に発表された人事院勧 員の給与改定については、 でと同様に国家公務員に準 にした。今後も原則これま 12月期の減額を見送ること 予定であることから、本年 を前提としていたことや、 合交渉においても国家公務 本に対応するよう要請がな も国家公務員の取扱いを基 方針が示された。本市は、 国は令和4年6月期で行う で調整してきたが、その後、 の期末手当を減額する方向 総務部長 今年度の本市職

### 個別事業について

施設運営は直営実施から民 食センター等、 図書館、病院、競輪場、 ビス向上を図るためなのか か、財政改革なのか、 いる本質は、行政改革なの に当たって、本市が求めて ノウハウの活用によるサー 大型事業を推進する 、現在本市の 民間

取扱いなどが懸念される。 そこで、給食センターの民 を担ってきた市内事業者の に際し、これまで従事して うした施設運営形態の変更 間委託に移行している。こ 環境の変化や、各種の業務 いた職員、パート等の雇用

間委託移行後において、 関係者に対しては十分 また、移行に当たり、 継続的かつ魅力を持っ 教育次長 新学校給食 ているのか。 な周知・説明がなされ て働き続けられるのか。 正規職員以外の雇用は、

が雇用することになる ついて、非正規職員の 継続して勤務可能であ が、本人が希望すれば 正規職員は委託事業者 今後雇用条件等に

> がないことから、各事業者 明し、勤務希望の有無等を と考えている。 とも十分認識しているもの その後、特に問い合わせ等 に、書面でも通知したが、 者に口頭で説明するととも となる旨、各事業者の担当 業務が令和4年7月末まで 供用開始に伴い、市の発注 は、新学校給食センターの いる各民間事業者に対して などの業務を現在委託して た、配送、設備保守、清掃 確認したところである。ま 用条件の変更等について説 なお、該当者に対しては雇 事業者と協議していきたい 不利益にならないよう委託



センターへ移行後、

建設が進む新学校給食セ タ

で全ての世代が安心して暮

厚労省は児童相談所だけで

①児童虐待について、

私は賛同している。その上 ており、この理念について ますという言葉が掲げられ 暮らす命は玉野の地で守り の理念として、現在玉野に

子供を守る

いきたい。

子どもからお年寄りま

### 人 質 問 個

# 市民ニーズに的確に応える

## 医療提供体制を

戸の会 村 上 光

江

玉野医療センターに問う

らすことのできる、そうい

なく市町村も連携、

協力し

新病院の建設には80

けて、市長はいつ行動を起 ③市民のかねてからの要望 所見を伺いたい。 療センターの病床機能構成 ②新病院において一般、 ないかという市民の声を聞 億円かかるとのことだが、 である午後診療の実施に向 の見直しが必要と考えるが 床にすべきである。玉野医 経営面から考えても100 体的に伺いたい。 市長との相違点があれば具 ①今後の計画において、前 く。そこで伺いたい。 であり、 健全経営ができるのか不安 こそうとしているのか。 括病床は50床としているが 見直しが必要では 包

> 地域の実情や時勢に合った 適切な医療が提供されると 療を掲げていることから、 センターとして断らない医 と認識している。玉野医療 構成へと変更していくもの 提供できるよう適切な病床 拡大に伴い、必要な医療が ② 今 後、 わりや救急医療の受け入れ と考えている。 な医療機関にしていきたい った医療を提供できるよう 医療需要の移り変

ら十分調整しながら進めて ③午後診療の実施について はあるが、玉野医療センタ やっていきたいという思い ぐらいに結論がでる勢いで えている。できれば年度内 をしていく必要があると考 ーの考えなどもあることか 医師会としっかりと話

> たい。 まえたうえで、 の支援を受けるのに時間が 所が遠いことから緊急案件 轄する岡山県中央児童相談 たいと述べている。しかし も多い。 かかることがあるなど課題 れておらず、また本市を管 協議会は年1回しか開催さ 玉野市要保護児童対策地域 て虐待を防ぐ体制をつくり 市や県の現状を踏 所見を伺

②本市におい て は D V

期待している。

たい。 策課が対応を行っている。 きと考えるが、所見を伺い 組織を一元化して対応すべ 児童虐待が同時に起こって 児童虐待については福祉政 いるケースが多いことから、 DVが起きている家庭では (※)については総務課が、

期発見、早期対応が必要で 市長 討したい。 今後、体制強化について検 あり、そのためにはかなり ている。虐待については早 の体制整備が求められる。 な課題があることは認識し る市や県の体制にいろいろ ①児童虐待に対応す

②それぞれ専門性が若干異 ることは難しいが、 から、直ちに一元化す までの経緯もあること ても今後の研究課題と っかりと連携をしなが なっていることやこれ 部署の統一につい



市長

①玉野医療センター

子 育 に関す 本市 の相談窓 る 

児童 地域のために重要だと 市民の足について

ても利便性の向上に努めて

いきたい。

協議のうえ、

新病院にお

いて、 議員 路線を廃止した場合、 不採算で民間が ①公共交通につ

> ②常に市民のニーズを考え っていくのか。 てどのような取り組みを行

かと考えるが所見を。 て病院が送迎をしてはどう 予約をしている患者に対し 医療センターができたら、 あると考える。新しい玉野 て、市民に寄り添う必要が

段を活用し、地域の方々の や費用対効果を総合的に検 路線については、利用状況 じることから、関係部署と るには相応の費用負担が生 において送迎バスを運営す しかし、玉野医療センター ていることは認識している。 ービスとして送迎を実施し まな病院において、患者サ いよう対応していきたい。 移動にできる限り支障がな ータクなどあらゆる交通手 スの活用に加え、既存のシ 証し、路線の変更やシーバ 域のために重要と思われる 公共施設交通防災監 **抦院事業管理監** ②さまざ 1

### その他の質問事項

新型コロナ対応の 振り返り

認められる路線に対し

### 質 問 個 人

の中で、

齢化による社会保障費の増

④大型投資事業や少子・高



# 少子・高齢化の中での 持続可能な財政運営を

玉野未来の会 下 方 志

財政問題について

のか。 ついて、 で進めてきた行財政改革に ①市長は、 うした観点から伺いたい。 に行うべきだと考える。そ 手数料の見直し等を積極的 っては受益者負担や使用料 政運営について、 本市の持続可能な財 どう思われている 玉野市がこれま 場合によ

解は。 以降、 ③適正な受益者負担や使用 認識しているが、 ②玉野市が平成16年の災害 行財政改革によるものだと きた中期財政試算に基づく 過去から継続的に行われて まで改善してきた要因は、 何とか現在の状況に 市長の見

ランスをとっていくつもり 高齢化に伴う社会保障経費 ④今後の大型事業や少子・ いたい。 費の削減について所見を伺 料、手数料の見直し、人件 に歳入予算と歳出予算のバ の増大も考慮し、どのよう

> けるべきものを見極めた上 市の将来像を見据え、手が のかどうか精査を行い、本

②本市では、

過去から継続

持って取り組んでいきたい。

で、柔軟かつスピード感を

して毎年の中期財政試算を

政運営に努めたい。

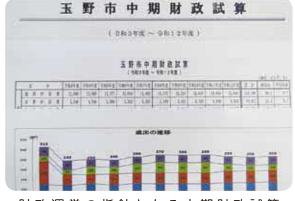
市長 ⑤多くの公共施設が老朽化 おける行財政改革の取組に 市長の考えを伺いたい。 ⑥持続可能な財政運営に向 についての所見は。 備に向けた新たな財源確保 身を切る改革につい ①これまでの本市に 公共施設の再編整 て

基金の積み増しなど、一定 あり続けるためには、今後 の成果があったと認識して は、約54億円に上る主要6 いる。限られた財源や人員 持続可能なまちで

取組が功を奏して現在の状 革へ不断の取組を行ってき 指針としながら、 たところであり、そうした 行財政i 改

認識している。 民と利用しない市民がいる 認識している。利用する市 性を確保することにあると の公費負担の公平性、公正 的は、受益者と非受益者間 手数料などがあり、その目 受益者負担には、使用料、 ③現在、本市が求めている 況にまで改善されてきたと





の基本的な考えに沿ったも 切にしつつ、その内容が私 までの改革の歩みを止めな 必要があると考える。これ 行財政基盤を強化していく 財政改革に取り組み、市の も不断の努力で継続的に行

いよう、行政の継続性は大

ちづくりを目指していくた 会の中で重要施策を推進し、 は、これからの人口減少社 く必要があると考える。ま 性の向上にも取り組んでい っては、市民への説明責任 ある。見直しを行うに当た は定期的な見直しが必要で ことが重要である。 や職員定数の見直しを行う 必要であり、引き続き組織 将来にわたり持続可能なま た、人件費の削減について 運営改善に努め、 の観点から、経費節減など 以上、受益者負担のあり方 市役所組織の最適化が また利便

る地方債など、有利な 革に取り組みながら、 財源を活用するととも 償還に交付税措置のあ う、事業実施に当たっ 況に陥ることがないよ ⑤公共施設の再編整備 果を上げるよう努めて 最少の経費で最大の効 の下、新たな行財政改 に、選択と集中の原則 ては国、 ても、危機的な財政状 大といった状況におい に向けた新たな財源の いきたいと考えている。 県の補助金や

> の中、 りを進めたい。 当たっては、限られた財源 感じる持続可能なまちづく 望を持って住み続けたいと 将来に向け全ての世代が希 できる質の確保を前提とし、 わたって安全・安心に利用 に転換しながらも、 市の財政規模と見合う規模 なると考える。再編整備に 財源として活用することに も事業費や地方債の償還の 競輪事業からの繰入金など た、公共施設等整備基金や 本となると考えている。 な地方債の活用の検討が基 金や交付税措置のある有 確保については、 公共施設の総量を本 国庫補 長期に

そうならないよう十分注意 最終手段だと認識しており 危機的な財政状況における 体になるおそれがあるなど、 は、一般的には財政再建団 と考えるが、こうした改革 る削減や人件費カットなど 踏み込んだ職員数のさらな 政改革の取組を進めてきた。 の適正化など、様々な行財 用、収納率の向上、 業の見直し、民間活力の活 ⑥本市では今日まで事務 身を切る改革は、 効率的かつ安定した財 職員数 さらに

《が不十分であることが挙

購入に係る補助制 補聴器が高額であ 欧米に比べて補聴器の使用

れている。日本の難聴者は

率が極端に低く、その原因

NEWBENDER

玉野市職員 子育て・女性活躍 支援プラン

険因子になることが指摘さ

だけでなく、認知症等の危 ど、日常生活を不便にする ケーションを困難にするな ②加齢性難聴は、コミュニ

THE NAME OF STREET

### 質 問 個 人



# 全ての市民が希望に満ちた社会づくりを

日本共産党 細 Ш 健

地域社会づくりについて

人ひとりが尊重される

げられている。こうした中、

の拡大をやめて、非正規は 暮らせる社会を確立するこ され、8時間働けば普通に 市長の所見は。 組が必要であると考えるが すること。これら3つの取 定し、雇用は正規を原則と と。3つ目に、非正規雇用 立できる労働ルールを確立 家族的責任と働くことを両 し、男女共生活時間が保障 を是正すること。2つ目に 1つ目に、男女の賃金格差 ンダー差別を解消するには 一時的、 ①雇用におけるジェ 臨時的な仕事に限

> たい。 購入の補助を求める要望書 設を求めるが、所見を伺い が市長宛てに提出され、 り、加齢性難聴者の補聴器 た。本市でも早期の制度創 月議会には請願も提出され 本年5月に市内の5団体よ 9

管理 揮できる環境が整備され、 市長 施行により、 活で個性と能力を十分に発 「職に占める女性の割合 ①女性活躍推進法の 女性が職業生

おり、 様々な格差の是正や各種ハ ントも社会的な問題となっ 別に起因した各種ハラスメ 差は社会的な課題と認識し 性の活躍の場が広がってい ており、こうした男女間 ハラスメント(※)など、性 ハラスメントやパタニティ ている。また、マタニティ 男女間格差等が指摘されて は賃金や能力評価における る。しかし、労働者全体で も上昇傾向にあるなど、 ラスメントの防止に向 雇用における男女格 女 の

本市職員の子育て・女性活躍支援プラ 望を持って暮らせる施が援助し、高齢者が希 を働きかけていきたい。 図り、男女が共に働き ている他市の制度やそ とともに、先行実施し 設については、認知症 器購入費助成制度の創 と認識している。補聴 策の推進が必要である やすい職場環境づくり 働関係法令等の周知を け、事業者に対して労 の予防効果に注視する

> の利用状況等を見極めなが ら検討していきたい。

### 教育行政につい

取組として、荘内中学校区 り推進モデル校の今年度の 教育長 ①未来の学校づく 組計画について伺いたい。 未来の学校づくりプロジェ ②今年度設置された玉野市 どのような状況か。 行しているが、その取 地区と東児地区を指定し試 推進モデル校として、 までの取組内容と今後の取 クトチームについて、これ ①未来の学校づくり

と胸上小学校の6年生が中児中学校では、鉾立小学校様々な取組を実施した。東 小・中学校の教職員の相互 学校で1日生活し、2小学 図る取組となっている。ま けたり、遊んだりするなど、 校の児童が一緒に授業を受 のボランティア参加など、 中学生が小学校の運動会へ 中学校生活の体験やオンラ では、荘内小学校6年生が で部会や研修会を開催し、 小・中学校の教職員が合同 た、こうした取組を通じて、 小・中連携と小・小連携を イン生徒会選挙への参加、

> 校区で取組や課題、成果、 中学校区一貫教育の取組を 理解による連携体制も構築 である。 内全体へ発信していく予定 交換を行い、報告会等で市 検証内容などについて情報 検証するとともに、両中学 継続しながら課題や成果を は、各中学校区で、さらに できたところである。 今後

莊内

組は

案づくりを進める予定であ 野市立学校将来計画を議論 検討を行った。今後は、玉 ど様々な課題について調査、 学校教育の質の維持及び向 プロジェクトチームでは、 ②玉野市未来の学校づくり り、草案がまとまり次第、 は市の考え方をまとめた草 するたたき台として、まず 状把握と、財政的な課題な 設の更新の必要性などの現 徒の推移や、老朽化した施 を実施し、今後の児童・生 いる。これまでに数回会議 を長期的な視点で検討して の設置や学校の適正規模化 上を目的に、義務教育学校

めていきたいと考えている。 を実施し、幅広く意見を求 談会やパブリックコメント 会に諮問するほか、地域懇 学校長等で構成される審議 学識経験者、市民、小・中

※パタニティハラスメント ••• 休暇や時短勤務を希望する男性社員に対する嫌がらせ行為

### 議会で決まったこと

### 11月臨時会 議案の審議結果

◆決算・決算関連議案(決算 10 件を【認定】、議案 2 件を【可決】)	付託委員会	議	決結果
<ul><li>・令和2年度市民病院事業会計決算</li></ul>	厚 生	認定	賛成多数(*1)
<ul><li>・令和2年度水道事業会計決算</li></ul>	産業建設	認定	全会一致
・令和2年度下水道事業会計決算	産業建設	認定	賛成多数(*2)
· 令和 2 年度一般会計決算	各委員会	認定	賛成多数(*3)
· 令和 2 年度国民健康保険事業特別会計決算	厚 生	認定	賛成多数(*4)
<ul><li>・令和2年度競輪事業特別会計決算</li></ul>	産業建設	認定	賛成多数(*5)
· 令和 2 年度市立玉野海洋博物館事業特別会計決算	産業建設	認定	全会一致
<ul><li>・令和2年度土地埋立造成事業特別会計決算</li></ul>	産業建設	認定	全会一致
<ul><li>・令和2年度介護保険事業特別会計決算</li></ul>	厚 生	認定	賛成多数 (*6)
· 令和 2 年度後期高齢者医療事業特別会計決算	厚 生	認定	賛成多数(*7)
・令和2年度水道事業会計剰余金の処分について	産業建設	可決	全会一致
・令和2年度下水道事業会計剰余金の処分について	産業建設	可決	全会一致

(\*1)  $\sim$  (\*7) 議員ごとの賛否の内訳は、20ページをご参照ください。

### 12月定例会 議案の審議結果

◆予算(5件を【可決】)	付託委員会	議決結果				
· 令和 3 年度一般会計補正予算(第 7 号)	各委員会	可決	全会一致			
· 令和 3 年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第 1 号)	厚 生	可決	全会一致			
・令和3年度競輪事業特別会計補正予算(第1号)	産業建設	可決	全会一致			
· 令和 3 年度一般会計補正予算(第 8 号)	総務文教 厚 生	可決	全会一致			
・令和3年度一般会計補正予算(第9号)	総務文教 厚 生	可決	全会一致			

### 議会で決まったこと

### 12月定例会 議案の審議結果(つづき)

◆条例(6件を【可決】)	付託委員会	議	議決結果				
・押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例	総務文教	可決	全会一致				
・玉野市ペット霊園等の設置の許可等に関する条例	厚 生	可決	全会一致				
・玉野市斎場条例の一部を改正する条例	厚 生	可決	全会一致				
・玉野市国民健康保険条例の一部を改正する条例	厚 生	可決	全会一致				
・玉野市都市計画法に係る開発行為の許可の基準に関する 条例の一部を改正する条例	産業建設	可決	全会一致				
・玉野市建設関係手数料条例の一部を改正する条例	産業建設	可決	全会一致				
◆その他(4件を【可決】)	付託委員会	議	義決結果				
・岡山県市町村総合事務組合の規約の変更等に関する協議	総務文教	可決	全会一致				
・指定管理者の指定について(玉野市立地区集会所)	総務文教	可決	全会一致				
・指定管理者の指定について(玉野市児童発達支援センター)	厚 生	可決	全会一致				
<ul><li>・指定管理者の指定について (玉野市立図書館及び玉野市立中央公民館)</li></ul>	総務文教	可決	賛成多数(*8)				
◆請願(1件を【採択】、1件を【一部採択】、1件を【不採択】)	付託委員会	議	議決結果				
・加齢性難聴者の補聴器購入に対する補助を求める請願	厚 生	一部採択	賛成多数 (*9)				
・重度心身障害者医療費助成制度の国の制度化を求める 意見書への請願	厚 生	採択	賛成多数(*10)				
・消費税インボイス制度の実施中止・延期を求める意見書の 提出をもとめる請願	総務文教	不採択	賛成少数(*11)				
◆意見書(2件を【可決】、1件を【否決】)	付託委員会	議決結果					
・加齢性難聴者の補聴器購入に対する補助を求める意見書案	_	可決	賛成多数 (*12)				
・重度心身障害者医療費助成制度の国の制度化を求める意見書案	_	可決	賛成多数(*13)				
・消費税インボイス制度の実施中止・延期を求める意見書案	_	否決	賛成少数 (*14)				
◆人 事(1件を【同意議決】)	付託委員会	付託委員会議決結果					
・玉野市公平委員会委員の選任について【藤原弘子】	_	同意議決	全会一致				

### 議会で決まったこと

11月	11月臨時会・12月定例会 各議員の賛否一覧(賛否が分かれた案件) 賛成・・・〇、原												豆対	•••	×																			
	会派名等	日本同志の会		令 和 瀬戸の会 たまの			瀬戸の会		ŧ	公明党		公明党		公明党		公明党		公明党		公明党		公明党		公明党		公明党		玉 未来 <i>全</i>		属	派さ議 副議長	な	<b>賛</b> 成 (	反 対 (
	議 員 名	松田達雄	細川健一	渚洋一	有 元純 一	小泉馨	宇野俊市	浜秋太郎	三字字三	村上光江	河﨑美都	藤原仁子	山本育子	森本宏子	氏家 勉	下方一志	松本岳史	大月博光	高原良一	入	爻													
(*1)	市民病院会計決算	×	×	$\circ$	0	$\circ$	×	$\bigcirc$	0	0	0	0	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	0	0	0	-	14	3													
(*2)	下水道会計決算	×	×	0	0	0	0	$\circ$	0	0	0	0	$\bigcirc$	$\circ$	$\bigcirc$	0	0	0	-	15	2													
(*3)	一般会計決算	×	×	$\circ$	0	$\circ$	×	×	0	0	$\circ$	0	$\bigcirc$	$\circ$	$\bigcirc$	0	$\circ$	0	-	13	4													
(*4)	国民健康保険会計決算	×	×	$\circ$	0	$\circ$	0	$\circ$	0	0	$\circ$	0	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	0	$\circ$	$\circ$	-	15	2													
(*5)	競輪会計決算	×	×	$\circ$	0	×	×	$\circ$	0	0	$\circ$	0	$\bigcirc$	$\circ$	0	0	0	0	-	13	4													
(*6)	介護保険会計決算	×	×	0	0	$\circ$	0	$\bigcirc$	0	0	0	0	$\circ$	$\bigcirc$	$\circ$	0	0	0	_	15	2													
(*7)	後期高齢者医療会計決算	×	×	0	0	0	0	$\circ$	0	0	0	0	$\circ$	$\circ$	0	0	0	0	-	15	2													
(*8)	指定管理者指定(図書館・中央公民館)	×	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	$\bigcirc$	0	0	0	-	15	2													
【請	願】																																	
(*9)	加齢性難聴者の補聴器購入に対する 補助を求める請願【項目1】	0	0	×	×	×	0	0	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	4	13													
(")	〃 【項目2】	0	0	$\circ$	0	$\circ$	0	$\circ$	×	0	×	×	×	×	0	0	$\circ$	×	-	11	6													
(*10)	重度心身障害者医療費助成制度の国 の制度化を求める意見書への請願	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	×	0	0	-	15	2													
(*11)	消費税インボイス制度の実施中止·延期 を求める意見書の提出をもとめる請願	0	0	×	×	×	0	0	0	0	0	0	×	×	×	×	×	×	-	8	9													
【意見	<b>見書</b> 】																																	
(*12)	加齢性難聴者の補聴器購入に対する 補助を求める意見書案	0	0	0	0	0	0	0	×	0	×	×	×	×	0	0	0	×	-	11	6													
(*13)	重度心身障害者医療費助成制度の国 の制度化を求める意見書案	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	×	0	0	-	15	2													
(*14)	消費税インボイス制度の実施中止・ 延期を求める意見書案	0	0	×	×	×	0	0	0	0	0	0	×	×	×	×	×	×	-	8	9													

※議長は賛否の決定に加われません。 (賛否が同数の場合を除く。)

8年に完成予定です。 ミの広域焼却場は令和 り、競輪場は今年3月 事業を多く推進してお 係者や保護者、 開始の予定です。最新設備 6駐車場に建設中で、今年 市の2市1町によるゴ 岡山市・久米南町・本 和7年1月に完成予定 療センターの新築は令 存です。 で建設されており、教育関 6月に完成、9月から供用 ンターは、競輪場南側の第 本委員会所管の学校給食セ に完成の運び、玉野医 であったアレルギー対応 現在本市は、大規模 市議会の悲

消防、 昨年10月、 業を前進させていく所 協議を行い、確実に事 年も責任を持って審議 議員の一員として頑張 長のキャッチフレーズの下、 進める市政を」という新市 「市民に寄り添い、ともに 新たな船出をしました。 は新たなリーダーを迎えて 案を所管しており、本 務、政策財政、教育、 たします。 本年も宜しくお願いい ってまいる所存です。 しておめでとうございます。 総務文教委員会は総 民の皆様、 税務他多くの事 16年ぶりに本市 新年あけま

総務文教委員長からのごあいさつ 玉野市議会 総務文教委員長 藤原 仁子

備に取り組む必要がありま ご理解とご協力を賜ります を持って住み続けたいと思 の安全・安心のため再編整 年と老朽化しており、 舎は、耐震性が低く、 時に防災の拠点となる本庁 よう心よりお願い申し上げ 層努力して参りますの たち総務文教委員一同、 える玉野市」になるよう私 がら「すべての世代が希望 き問題も多く、大災害発生 が可能になります。 しかし本市には対処す 様のお力添えを賜りな ます。今後も市民の皆 んでいく所存でござい 問題にしっかり取り組点に立ち、これらの諸 中学校の再編整備も考 級化し、部活動数の維 校中5校で1学年1学 学級に、中学校では7 学校1校中9校で複式 ままでは20年以内に小 が減っています。この を切り、急速に児童数 年間出生数が300人 です。また昨年初めて 点であり、検討が必要 の市民会館も文化の拠 す。令和2年3月廃止 える必要があります。 いう推計もあり、 持等もできなくなると 市民のためという視 市民 築 56 小 で、